

第7回設案ダム環境影響評価技術検討委員会 議事概要

日 時：平成19年2月8日 13:30～15:30

場 所：KKRホテル名古屋 4F 福寿の間

出席委員：松尾 直規 委員（委員長）、有田 豊 委員、小笠原 昭夫 委員、
田中 正明 委員、前田 喜四雄 委員、森 誠一 委員

（順不同。なお、西條 好迪 委員は欠席）

議事概要

松尾直規委員を委員長に選任。 新任の有田豊委員を紹介

前回議事について

前回議事概要を報告。

準備書における知事意見について

委 員：曝気循環設備については、今後より良い運用方法について、検討を行うこと。
知事意見にもあるが、貯水池の水質調査もモニタリングしていくこと。

事務局：運用については、より良くなるよう検討していきたい。また、貯水池の水質調査は、ダム管理の一環として行う予定である。

委 員：ダムの管理運用に当たって、下流への影響をより小さくできるよう検討すること。

委 員：移植に当たっては知事意見4（1）も踏まえ、より慎重に検討して実施すること。

事務局：移植の実施にあたっては、専門家の指導、助言を得ながら進めていきたい。

委 員：外来種等が移入される可能性あることについて、何らかの注意喚起が必要である。

委 員：水辺の利用については、地元や利用者等から聞き取りを行うなど、積極的に触れ合いの場を設けるなどしてはどうか。

事務局：貯水池等の利活用については、地元などと、環境アセスメントとは別でも検討していきたい。

委 員：整備する湿地環境の経過をモニタリングしていくこと。

委 員：知事意見に適切に対応し、評価書に反映すること。

事務局：今回のご意見、ご助言を踏まえ、評価書の作成を進めていきたい。